

# 広島県営水道経営プランの概要

## 基本理念

「安心」で「良質」な水の「安定」供給を基本に、県民・企業から信頼される効率的で持続可能な事業運営に努め、県民福祉の向上と地域経済の発展・活性化に貢献します。

## 広島県営水道ビジョン

## 広島県営水道経営プラン 《計画期間：平成26～28年度》

平成23～32年度(10年間)の県営水道事業の事業指針

### A 経営基盤の強化

(1) 経営形態・事業運営の再構築

(2) 老朽化施設の計画的な更新

(3) 収益向上に向けた取組の推進

### B 人材育成と組織活力の向上

(4) 職員のスキルアップ

(5) モチベーションの向上

### C 信頼性向上のための水道システムの充実

(6) 安心・良質な水の安定供給

(7) 地域貢献・情報公開の推進

【策定の目的・位置づけ】 基本理念の実現に向け、広島県営水道ビジョンの「3つの柱」と「7つの戦略目標」に沿った、今後3年間の具体的な取組と収支計画

#### 具体的な取組

実施項目	実行計画	指標	現状値 25年度見込	目標値 28年度
公民連携の推進・事業運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング結果を踏まえた沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道への指定管理者制度の導入</li> <li>計画的な事業執行・業務の効率化、財務体質の強化</li> </ul>	沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道における指定管理者制度の実施	-	実施
市町との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設改良分野における市町との連携手法の検討・試行</li> </ul>	建設改良分野における市町との連携の実施	-	1市町
老朽化施設の計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>管路更新計画(第1次)に基づく老朽管路の着実な更新</li> <li>水道施設リフレッシュ計画に基づく老朽施設・設備の更新</li> <li>アセットマネジメントの実践、施設・設備のダウンサイジングの実施、新たな管路更新計画の策定</li> </ul>	管路更新計画(第1次)対象延長に対する管路更新率	40%	72%
未売水の販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業用水の新規需要の開拓</li> </ul>	工業用水の契約水量の増量	240 m <sup>3</sup> /日	500 m <sup>3</sup> /日
専門知識・技術等の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成方針を新たに策定</li> <li>職場内研修(OJT)の実施、技術力向上研修の充実</li> <li>資格取得支援制度の活用促進</li> </ul>	人材育成方針の策定	-	策定
経営参画意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営に関する職員との意見交換の拡充</li> </ul>	意見交換の開催回数(年/各所)	2回	3回
他団体との交流等の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体との技術の相互交流の推進</li> <li>水道事業先進地への調査派遣</li> </ul>	技術の相互交流件数(年)	5件	5件
水質管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県営水道水質管理計画、広島県営水道水質検査計画に基づく水質管理、水質検査の実施</li> </ul>	かび臭など異臭味障害に関する苦情件数(年)	0件	0件
計画的な水道施設の維持・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設改良計画に基づく施設・設備の整備、管路の耐震化の推進</li> <li>広島県営水道の送水のあり方基本計画に基づく災害・事故に強い供給体制の構築</li> <li>施設の維持管理の充実</li> </ul>	送水ルート強化整備事業の進捗率(事業費ベース・件数ベース)	事業費 10.6% 件数 3件/6件	事業費 52.7% 件数 5件/6件
危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急復旧体制の強化、防災訓練の充実</li> </ul>	訓練実施・参加回数(年)	10回	10回
環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画に基づく環境対策の実施</li> <li>河川清掃活動への参加、水質保全の啓発活動の実施</li> </ul>	送水流量あたりのエネルギー使用量	0.1800 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	0.1746 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>
広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる情報提供の充実</li> <li>施設見学等を通じた水道のイメージアップ</li> </ul>	ホームページによる情報発信件数(年)	15件	15件以上

#### 収支計画

#### ■ 水道用水供給事業 ■

- ▶ 期間中は、水需要の減少に伴い収益は減少するものの、10～20億円の利益を確保できる見込み
- ▶ 期間中の設備投資額(建設工事費)は約168億円を予定
- ▶ 累積資金は、今後の施設更新の財源として活用

(単位：百万円)

項目	26年度	27年度	28年度
収益	10,997	10,969	10,890
給水収益	9,724	9,713	9,654
費用	9,628	9,111	9,295
特別損益	▲278	0	0
単年度損益収支	1,091	1,858	1,595
資本的収入	1,526	1,373	1,586
資本的支出	8,651	8,137	6,344
建設工事費	6,613	6,051	4,170
資本的収支差引	▲7,126	▲6,764	▲4,757
単年度資金収支	▲1,751	▲1,072	878
年度末累積資金残高	8,801	7,728	8,607
企業債残高	30,172	29,159	27,486

#### ■ 工業用水道事業 ■

- ▶ 期間中は、1～2億円の利益を確保できる見込み
- ▶ 期間中の設備投資額(建設工事費)は約79億円を予定
- ▶ 設備投資等の財源として資金を活用するため、資金残高は減少するものの、期間中、事業運営に必要な資金は確保できる見込み

(単位：百万円)

項目	26年度	27年度	28年度
収益	2,756	2,691	2,693
給水収益	2,003	1,994	1,989
費用	2,500	2,419	2,579
特別損益	▲24	▲10	▲10
単年度損益収支	232	262	104
資本的収入	2,251	1,914	873
資本的支出	3,634	3,646	2,094
建設工事費	3,157	3,162	1,592
資本的収支差引	▲1,383	▲1,732	▲1,221
単年度資金収支	▲457	▲734	▲321
年度末累積資金残高	2,716	1,982	1,661
企業債残高	9,303	10,733	11,104